

【三川町】の部活動改革の取組み

経過と課題

これまで学校中心で行われてきた部活動を継続する形で地域移行を進めてきた結果、中学校との連携や生徒や保護者の戸惑いも少なく活動が継続して行われてきている。

課題として、活動する生徒数の減少に伴う受益者負担の増加が見込まれること。さらに、地域指導者の待遇改善と育成があげられる。

協議会として、活動を支援するための財源確保と指導者の待遇改善及び指導者の募集と育成体制の構築をめざしている。

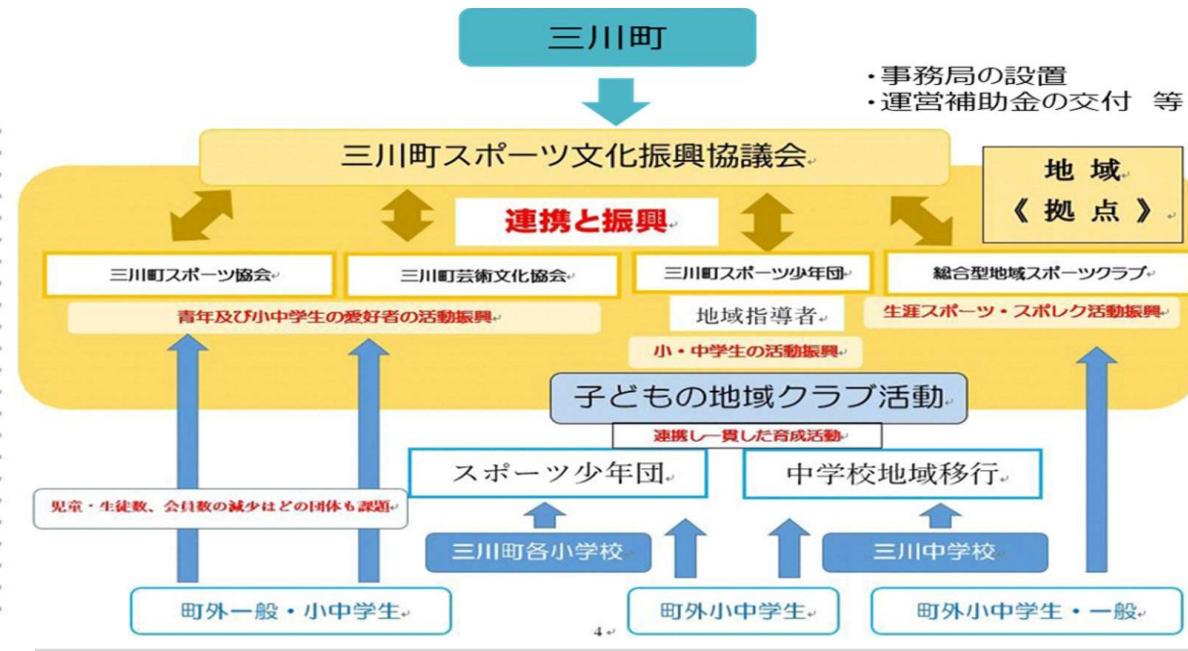
地域クラブ活動等の概要

中学校数	1校	全生徒数	196人
域内の部活動数	10部	実施した地域クラブ数	10クラブ
全体の指導者数	22人	全体の運営スタッフ数	26人
主な運営団体	三川町スポーツ文化振興協議会 (任意団体: 地域移行に合わせて設立)		
主な種目	サッカー、バレーボール、卓球、柔道、剣道、バスケットボール(男・女)、ソフトテニス、バドミントン、吹奏楽		
平均的な活動回数	12回/月	年間平均参加生徒実数	3年: 42人 2年: 32人 1年: 38人
参加会費	なし (現時点)		
	主な活動場所 三川中学校、町民体育館ほか		

地域展開関連の取組・成果

中学生だけの活動では人数的な面で練習内容も限られ有効な活動を仕組むことが難しい。また、スポーツ少年団も団員の減少により同様の課題をもっている。そこで、スポーツ少年団を取り込んだ活動組織にし、小中一貫した育成を協議会で提案している。社会人競技団体も取り込み、小学生から社会人までを対象とした合同練習会等を企画し、世代間の交流を深め、競技の楽しみを分かち合う機会を創出したい。また、スポーツ少年団の指導者には、小中一貫した育成形式を望む声は多く、実施可能と考えるが、保護者への理解や協力をどのように進めていくかが課題となっている。

運営体制図



【三川町】の部活動改革の取組み

活動の様子



バレーボールクラブ



クラブ員募集ポスター



卓球クラブ



剣道部クラブ



吹奏楽部